

いぶき

2024年4月1日発行
社会福祉法人 白寿会
特別養護老人ホームいぶき苑
〒503-2107
岐阜県不破郡垂井町岩手4538番地
電話(0584)22-5211 FAX(0584)22-5294
ホームページ <https://www.ibukien.jp>
メールアドレス ibukien@ibukien.jp



2024年度 白寿会事業計画	2	フレイル脱出大作戦	6
夢実現発表会	3	御礼(寄付・ボランティア紹介)	6
くらしのひとコマ	4	祝長寿	6
本館防災訓練	5	いぶき苑の行事予定	6
豆まき	5	今月号の表紙	6
ひな祭り・ひな御膳	5		

2024年度 **白寿会事業計画** (主要事業)

ご利用者・ご家族の支援充実

● 自立支援・重度化防止に向けたケアの充実

・入居者が自立した日常生活が営めるよう、機能訓練、口腔、栄養の一体的取り組みを推進し、自立支援・重度化防止を進めます。

● ICT・介護ロボットの活用

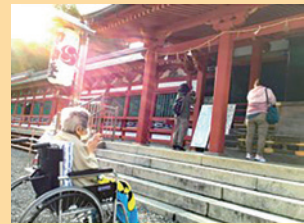
・「眠りスキャン」の利活用とともに、ノーリフト理念の定着を図り、入居者の生活の質向上と職員の働き方の改善を進めます。

● ご利用者の心に寄り添うケアの推進

・「学習療法」の実施及び認知症介護に係る各種研修修了者の継続的な育成により、認知症ケアの一層の充実に努めます。

● 夢の実現事業の推進

・ご利用者お一人おひとりの抱く思い、夢、希望、生きる目標を把握し、思いが実現できるよう多職種が連携し推進します。



地域福祉の拠点となる施設としての役割発揮

● 地域包括ケアシステムへの対応

・地域包括ケアシステムの一角を担うデイサービス事業所、居宅介護支援事業所及び在宅介護支援センターの活動の充実を図ります。

● 地域住民に参加いただく教室の開催

・垂井町からの受託事業「認知症カフェ いぶきっさ」及び法人独自事業「フレイル予防教室」を引き続き開催します。



職員が生きがいと働きがいがある職場づくり

● 人材の確保

・介護職員が不足する中、外国人を含む多様な人材の確保を進めます。

● 人材の育成と定着

・職員一人ひとりのスキルアップとモチベーションアップにつながるよう人材育成システムの再構築を行います。

● ワークライフバランスを尊重した職場づくり

・職員が「仕事」と「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方を実現できる職場環境を創出します。



災害・感染症対策の推進

● 自然災害対策

・災害発生時に入所者の安全を守るとともに、安心できる暮らしの継続を確保するため、防災訓練を実施するとともに、事業継続計画 (BCP) の職員への周知、研修、訓練を実施します。

● 感染症対策

・引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底を図るとともに、インフルエンザ、ノロウイルス感染症などの集団感染防止対策を進めます。

夢実現発表会

いぶき苑では、1年間を通し「叶えたいこと」、「やり残したこと」など聞き取り、夢実現として取り組んでいます。今年も令和6年3月8日(金)本館別館の各フロア(ユニット)代表者1名による、取り組みの発表会を行いました。

ご利用者様に「何かやり残したこと、叶えたいことはないですか」と問いかけても「何もない」と言われることが多く夢を聞き取ることが大変でしたが、今までの暮らしや会話から思いを引き出し取り組むことができました。

事例をご紹介します

いぶき苑イキキ製麺所
K様(女性)

●入所後の様子

体調を崩され、ベッドで過ごされることが多かった。
体力の低下もあり、食欲がない日が続いていた。



K様の思い ・ 食べることが好きで、大好きなうどんを作って食べたい。



●取り組み

聞き取りの中で昔うどんを手作りして振舞ったことがあることがわかり、K様のうどん作りに、他のご利用者にも参加して頂き、いぶき苑イキキ製麺所を開催しました。管理栄養士にも協力をしてもらい、できるだけたくさんの方にK様の手打ちうどんを召し上がっていただけるよう形態も工夫しました。

結果

入所されてから一切料理をされることはなかったK様が、自分で麺を伸ばし包丁で麺を切りうどんを作られ、作ったうどんを食べ満足された。
うどん作りを通し普段見られないK様の姿が見られ、「〇〇だからできない」と決めつけるのではなく、本人のやりたいという意欲を引き出し支援につなげることの大切さを改めて感じた。



映画館で
思い出の映画が見たい
O様(女性)

●入所後の様子

いつも大きな声で元気に話され、世話好きで困っている方を見るとほっとけない。
心配事が多く、気苦労されている。

●O様の暮らし

小学校を卒業後、就職のため親元を離れ毎日泣いていた。唯一日曜日に姉と一緒に映画を見に行くのが楽しみだった。
結婚後も旦那様と大垣に映画を見に行っていた。

O様の思い ・ 旦那様と大垣の映画館で観た懐かしい映画を見たい。



●取り組み

写真などを見て楽しかった思い出や自慢話を数人で回想し、より多くの思い出を引き出し、聞かせていただいた。
行くことが難しい為、いぶき苑花ホールを映画館に見立て、旦那様と見た思い出の映画「愛善かつら」を大画面のスクリーンで見る映画鑑賞会を開催しました。

結果

昔を思い出し生き生きとした表情を見ることができた。
若い職員と一緒に鑑賞しコミュニケーションが増えた。
映画というツールを通し昭和の時代を振り返り楽しかった時代を感じてもらえた。



くらしのひとコマ



本館 大垣駅に
イルミネーションを
見に行きました



本館 南宮大社に初詣に行きました



別館 梅の花を見にいったよ 綺麗でした。



本館 ご家族から
誕生日の祝いにお花の
プレゼントを頂きました



別館 雪だるまを作って一緒に写真を撮りました



本館 焼き芋を食べました



別館 皆さんで囲んで暖かいお鍋を食べました。
とってもおいしかったです!!





本館防災訓練 令和6年2月7日



1月1日午後4時10分、能登半島でマグニチュード7.6、最大震度7の地震が発生しました。垂井町でも震度4以上という地震アラートが鳴りました。

今年3回目の防災訓練は「南海トラフ地震」震度5弱、ライフラインは使用不可、停電を想定し行いました。今までの地震訓練は簡易的な訓練で火災訓練が中心でしたが、今回は地震中心です。

まず地震アラートが鳴り、入居者防護のため、頭から布団などで覆います。職員は自分の身を守る為、机の下にもぐります。1分間の揺れが収まり、入居者の状態を確認、建物被害確認のため居室を見て回ります。



本部では、記録の準備、居室以外の建物被害確認、備蓄品の運搬。けがをした入居者の処置に看護師が走ります。その後、厨房で火災が発生。入居者を避難させます。小雨の中、入居者に声掛けをしながら無事避難完了となりました。

簡易的なシナリオであった為、本部の指示が一番重要となりました。反省すべき点はかなりあります。令和6年度の訓練では、今回の反省を踏まえ、机上訓練にも力を入れ、「有事の際に動ける体制作り」をしていきたいと思えます。

3月8日(金)、昼食に「おすし御膳」を提供しました。お寿司は、皆様からのご要望も多く、心待ちにしてくださいました。竹の子、アスパラガス、菜の花など春が旬の食材を使用し、お食事から春の風を感じていただけたと思います。ご馳走を目の前に目を輝かせて歓声を上げてくださったり、普段食事が進まない方が自ら手を伸ばし召し上がられたりと嬉しい光景がこちらでみられました。

おすし御膳

寿司五貫
天ぷら盛り合わせ
鮎の甘露煮
炊き合わせ
菜の花のお浸し
茶碗蒸し
果物(メロン)



豆まき



令和6年2月2日、毎年恒例の豆まきをしました。

「鬼はそとー！福はうちー！」いぶき苑に来た鬼を皆さん一生懸命に退治してくださいました。

鬼に豆を思いっきり投げつける方、優しく鬼に話しかけて下さる方、豆をもくもくと召し上げられる方、豆を鬼に分け与えてくださる方。皆様、思い思いに楽しんでくださったようで私達職員もとても楽しい時間を過ごせました。



フレイル脱出大作戦! ~心と体にいぶきを~

フレイル予防教室は3年目を迎え、参加者の数も30数名に増えました。今年も栄養面では管理栄養士による講習や調理・試食、身体活動では機能訓練指導員による運動器の機能向上、社会参加では、集う人々がコミュニティを形成し発展できるような支援等、健康長寿の3つの柱「栄養」「身体活動」「社会参加」の3方面から地域高齢者の生活機能の維持・向上を目指してきました。

3年目の参加者には社会参加の意味を込めてサポーターとして計測のお手伝いを依頼し、教室の運営のサポートをしていただきました。計測においては、多くの参加者が基準をクリアできるようになり、クリアできないまでも、回を重ねるごとに成果を見て取ることができました。

10月には、昨年コロナのために開催できなかった、ウォーキングを実施し、相川の河川敷まで参加者の皆さんと楽しく歩くことができました。外部では7月に東地区まちづくりセンターで、1月には表佐寿会でフレイル予防教室を開催させていただき、良い評価を得ることができました。表佐寿会でのフレイル予防教室ではまちづくり協議会の広報誌にも掲載されることが決まりました。

今後もフレイル予防のため、「栄養」、「身体活動」、「社会参加」の3方面から生活機能の維持、向上を目指し、地域の皆様の通いの場となることを願っております。



セラバンドを使用した体操の様子

祝 長寿

令和6年1月～3月中に100歳・102歳・102歳をおむかえになられた方々です。



高木 久子様
(102歳)



神巻 てる様
(102歳)



富田 うめの様
(100歳)

御礼

(12月16日～2月15日)

ご寄付の紹介

ありがとうございました。

関ヶ原民生(児童)委員協議会様
安田 弘様

安田 弘様(白寿
会前理事)より車
椅子9台をいた
だきました。



ボランティアの紹介

いつもありがとうございます。

園芸ボランティア様 南庭のお手入れ



いぶき苑の行事予定

4月17日…認知症カフェ

5月2日…フレイル予防教室



今月号の表紙

「立派なお雛さんや。こんな立派なのはなかなかないよ。7段か。うちにもあるけどここのは立派や。綺麗にしたるわあ」

と感心しながらお話しされました。カメラを向けると普段とは違った素晴らしい笑顔を見せてくださいました。

